

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	成人看護	単位数	1単位 (1、2学期)	学年・学科・コース	3年・衛生看護科
使用教科書	看護学入門10 成人看護Ⅲ (メヂカルフレンド社)		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>看護の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、成人看護の実践に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人看護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</li> <li>・成人看護に関する多様な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。</li> <li>・成人看護について、よりよい看護の実践を目指して自ら学び、成人の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</li> </ul>
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
対象となる年齢層が幅広く、生活形態の変化も大きい成人期の疾病予防や障害等に 応じた看護について、具体的な事例を通して 学習することによって、生活習慣や家事、 仕事、子供の育児、親の介護等が成人期 の健康に与える影響を理解し、健康の回復 や保持増進に関わる技術を身に付けてい る。	成人期の健康課題について具体例を取り 上げ、看護の職業倫理を踏まえ意思決定や 行動変容を支援して、望ましい生活習慣の 獲得、セルフケアを促す視点から援助を考 察するとともに、実施する援助とその根拠 を明確にして、課題を解決する力を身に付 けている。	成人の健康課題の解決に当たっては、仕事 や家庭、地域社会での役割と健康づくりの 両立を目指し、主体的かつ協働的に看護の 実践に取り組む態度を身に付けている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
5 6 7 8	機能障害のある患者の看護	・感覚機能障害	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能障害のある患者の看護について理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。</li> <li>・機能障害のある患者の看護について多様な課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見いだすことができる。</li> <li>・機能障害のある患者の看護について自ら学び、患者の安全・安楽を守り、回復の促進を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	定期考査 授業態度 発問評価 提出物 小テスト
9 10 11 12	機能障害のある患者の看護	・性・生殖・乳腺機能障害	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能障害のある患者の看護について理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。</li> <li>・機能障害のある患者の看護について多様な課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見いだすことができる。</li> <li>・機能障害のある患者の看護について自ら学び、患者の安全・安楽を守り、回復の促進を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	定期考査 授業態度 発問評価 提出物 小テスト